



▲「もし、もし…」通信エリアの拡大のため、鉄塔整備を！

小野 順一

通信エリアの拡大

質問

過疎地域の情報通信格差を解消するため、携帯電話の鉄塔整備について働きかけを。

答弁 企画部長

携帯電話は、日常生活において必要不可欠な情報端

末となっており、通話エリアの拡大が求められています。

本市は、地形上の理由から、携帯電話の不感地域が周辺山間部に多く（約26地域）存在しています。

このような現状を電気通信事業者に機会あることに理解を促すとともに、その解消にむけ、鉄塔の設置・整備の働きかけをします。

特色ある企業誘致で地域に活力を！

質問

企業誘致の取り組みは。

答弁 企画部長

旧町村時代のような大企業に照準を絞る方法での企業誘致では、成果を期待できません。

地元にある企業の協力を得ながら、小さくても優良企業を多く誘致する方が得策だと考えています。

※その他

企業（食品開発）誘致で農業の活性を

津高 栄治

中山間地の過払い

質問

市の基幹産業である農林業の振興発展のため、また地域づくりの推進のため、返還要求しないことを提言する。
市長の考えは。

答弁 産業経済部長

旧緒方町の関係集落が農用地など、適性に維持管理されていることは、十分理解できます。

市内の集落には、農用地などの維持管理をしながらも交付金制度に該当しないために、交付金を受けられない農用地が多数存在します。

また、市政を運営するにあたり均衡ある行政の推進が基本とならなければなりません。
したがって、基本的に返還を要請する考えです。



▲広大な農用地（緒方町）